

コンピュータチェック事例コード

48SJ991074701

コンピュータチェック内容

在宅人工呼吸指導管理料を算定している患者に対し、処置の項において気管切開後留置用チューブが算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

在宅人工呼吸指導管理料を算定している患者（入院中の患者を除く。）については、酸素吸入、突発性難聴に対する酸素療法、酸素 TENT、間歇的陽圧吸入法、体外式陰圧人工呼吸器治療、喀痰吸引、干渉低周波去痰器による喀痰排出、鼻マスク式補助換気法及び人工呼吸の費用（これらに係る酸素代を除き、薬剤及び特定保険医療材料に係る費用を含む。）は算定できないとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

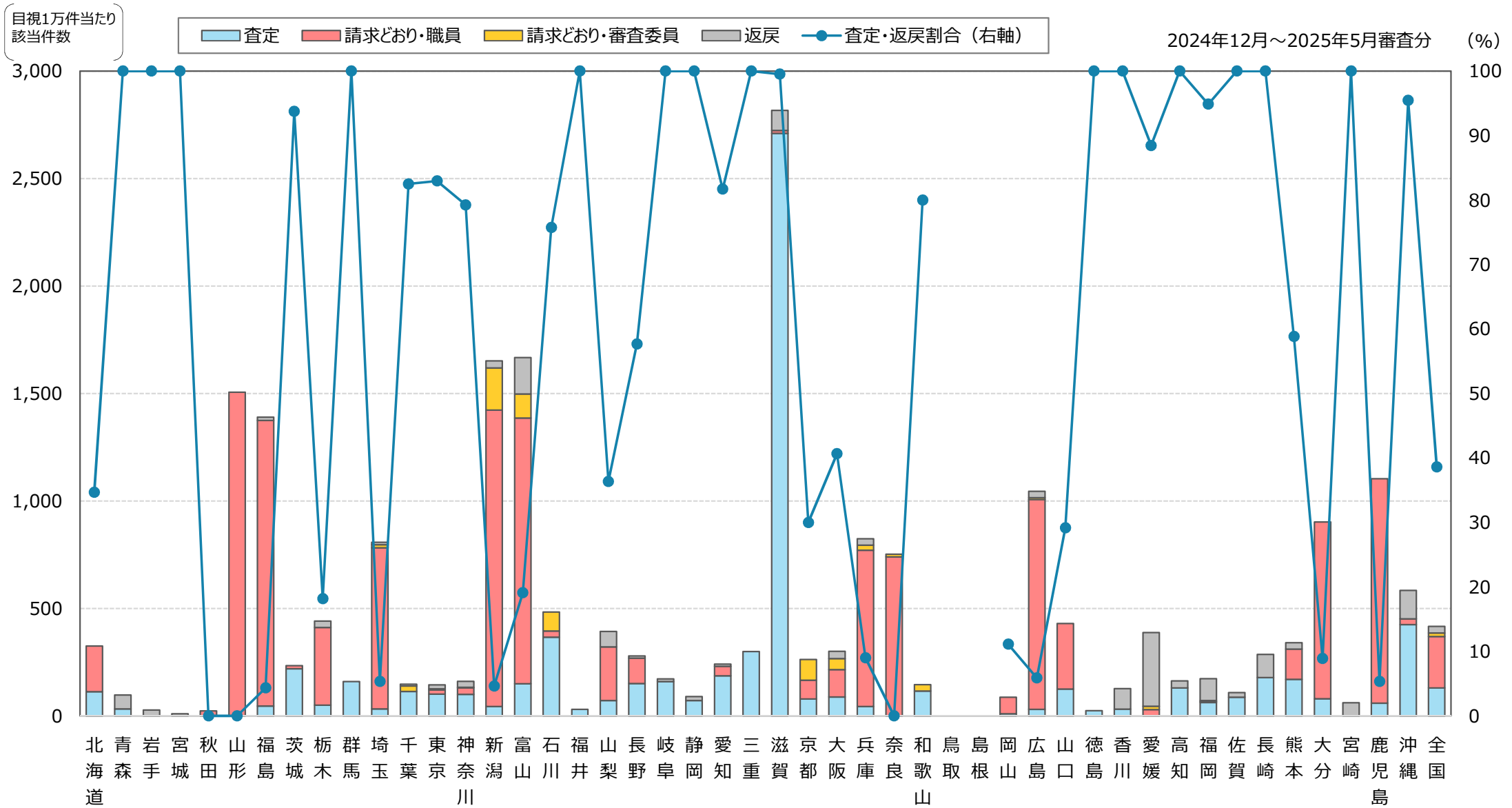
➤ 全国の査定・返戻割合 38.60%

➤ 検証対象都道府県 24

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山形、奈良、福島、新潟、埼玉、鹿児島、広島、大分、兵庫、岡山、栃木、富山、山口、京都、北海道、山梨	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	山形、新潟、福島、富山、鹿児島、広島、大分、埼玉、奈良、兵庫、栃木、山口、山梨、北海道、熊本、大阪	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	新潟、富山、京都、石川、大阪、千葉、兵庫、愛媛、埼玉、奈良、広島、神奈川	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,290件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	884件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,406件



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数